

男女のよりよいパートナーシップを

# ゆうCan

杉並区立男女平等推進センター情報誌

2024年  
70号

いつ・だれの身にも起こりうる災害にどう備えるか、災害対策に性別や年齢、家族の形態など、多様な立場の視点を反映させる必要があります。今号では、災害とジェンダーに関する専門家の浅野幸子さんにお話を伺いました。

## 女性/ジェンダーの視点で考える 被災と防災・復興

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表  
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

浅野 幸子さん Asano Sachiko

阪神・淡路大震災の被災地での4年間の支援活動を契機に防災に取り組む。その後も市民団体で働きながら大学院に進学。博士(公共政策学)。専門は地域防災、災害とジェンダー。福祉防災認定コーチ。内閣府「避難所運営ガイドライン」「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」など国・自治体の政策にも関わる。



災害は、性別、年齢、障害や病気の有無、家族構成、経済力などによって、異なる形で影響をもたらします。少子高齢化や単身世帯の増加、共働き世帯の主流化など、社会が大きく変化するなかで、防災・復興には女性/ジェンダーの視点が一層不可欠となっています。

**曜日・時間・季節による被災状況の違いをイメージする**

災害発生時に、必ずしも家族が一緒とは限りません。東日本大震災は、通勤・通学・買い物などで多くの家族が離れ離れの平日昼間に発生しました。内閣府の調査の中に、単独で避難した人は男性が多く、複数で避難した人は女性が多いとの結果も見られることから、地域では女性と高齢者(女性が多い)が大半の状態での災害対応をせざるを得なかったものと推測されます。

通学途上で子どもが一人で被災した場合や、真夏や真冬に被災した場合などもイメージしながら、個人・家庭・地域の対策について備えましょう。

家庭での基本対策として、室内安全対策(家具の配置換えや転倒防止器具の取り付け、ガラス飛散防止フィルム)の貼り付け等)、地震ブレイカーの設置(地震の揺れで自動的にブレイカーが切れる)、自宅や学校・職場周辺と通勤・通学路の災害リスクをハザードマップで確認する、備蓄を1週間程度

**性別・立場別に見た災害時の困難と対策の方向性**  
**女性の参画+男女相互の理解と協力を**

救命救助、初期消火、緊急避難、避難生活において、女性も含めて、近隣の人と助け合って主体的に活動できるようにしておくことが、自分や家族の命、財産を守る上でも重要となります。

### 災害伝言ダイヤル/伝言掲示板の使い方

被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される、声の伝言板とwebを使った伝言版のこと。通信各社がサービスを提供しており、災害が無くても練習が出来る日が設定されています。詳しくは各社のwebサイトを検索してください。

用意することをまず実践してください。

なお、都心で被災した場合、むやみに動く危険なため、東京都は帰宅困難者対策条例を策定し、首都直下地震が起きた場合、3日程度は都心から動かないよう呼び掛けている。そのため、離れ離れで被災をしたときに、家族の安否がわからず、無理をして迎えるに行こうとして命を危険にさらすことがないよう、災害時の保育園や学校の対応方針を確認しておく、電話が通じにくい場合でも安否を伝えることができる**災害伝言ダイヤル/伝言掲示板の使い方**を家族全員で練習しておくことも重要です。

### 考えてみよう? その表現⑤

## 性による固定化されたイメージが色濃く反映されている表現になっていませんか

杉並区で情報を発信する際、男女共同参画の視点からより望ましい表現に工夫するために活用している「男女共同の視点で考える表現ガイド」から一部を紹介します。

何気なく使っている表現の中にも、男性を中心としてきた社会構造や男女の固定的役割分担意識が反映されたものが数多くあります。性別を強調する表現や対語のない表現などは避け、相手方に配慮した表現となるよう少し工夫をしてみましょう。

#### 例1 男性を「主」女性を「従」に捉えた表現

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人</li> <li>・亭主</li> <li>・旦那</li> <li>・奥さん</li> <li>・家内</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫もしくは妻</li> <li>・配偶者</li> <li>・パートナー</li> </ul>
--	---	---

#### 例2 個性を性別と関連させて捉える表現

<ul style="list-style-type: none"> <li>・女(男)のくせに</li> <li>・男勝り</li> <li>・男泣き</li> </ul>	➔	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">使用しない</div>
---	---	--

#### 例3 女性のみ性別を強調する表現

<ul style="list-style-type: none"> <li>・女社長</li> <li>・女医</li> <li>・女子アナ</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社長</li> <li>・医師</li> <li>・アナウンサー</li> </ul> <p>※必要な場合のみ「女性(の)」をつける。</p>
--	---	---

#### 例4 女性を鑑賞対象とした表現

<ul style="list-style-type: none"> <li>・看板娘</li> <li>・職場の花</li> <li>・紅一点</li> </ul>	➔	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">使用しない</div>
---	---	--

### 杉並区立男女平等推進センター 協働提案事業「情報・資料コーナーの整備と有効活用について」

#### 杉並女性団体連絡会と杉並区の協働提案事業でさまざまな取組を行っています

10月29日に作家の柚木麻子さんをお招きして『らんたん』に見る、今につながる女性の生き方』と題して講演会を開催しました。

柚木さんの著作『らんたん』に描かれる女子教育や男女平等に貢献したさまざまな女性たちからのバトンをどう受け継ぐのか、自然体でユーモアに溢れた語り口で話していただきました。『らんたん』は情報・資料コーナーで貸し出しています。

11月22日から25日まで阿佐谷地区区民センターにて「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展を開催しました。

男女平等推進センターにある関連図書を展示したり、女性に対する暴力根絶運動の象徴として知られているパープルリボンツリーを設置し、多くの来場者が飾りつけに参加しました。



パープルリボンツリーの飾りつけ

### ゆう杉並 杉並区立男女平等推進センター



- 関東バス 荻窪駅南口発 シャレール荻窪行→「シャレール荻窪入口」下車→徒歩5分
- 杉並区南北バス「すぎ丸」けやき路線 JR阿佐ヶ谷駅→井の頭線浜田山駅 「善福寺川緑地」下車→徒歩10分
- 東京メトロ丸の内線 「南阿佐ヶ谷駅」下車 徒歩15分 ※駐車場はありません。

- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 月曜日(祝休日の場合は翌日) 12月28日から1月4日まで

■住所 〒167-0051 杉並区荻窪一丁目56番3号 TEL.03-3393-4410



杉並区公式ホームページでは過去に発行した情報誌「ゆうCan」をご覧いただけます。



こちらからご参照ください↑

困りごと

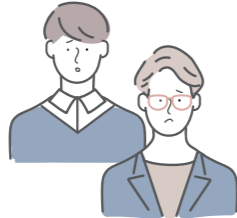
# 性的マイノリティ当事者の について考えてみよう

杉並区では令和5年4月に「性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」を施行し、全ての区民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会の実現を目指しています。

皆さんの身近にも性的マイノリティであることを言えずにさまざまな事情を抱えながら、自分らしく生きたいと願う人が暮らしているかもしれません。性のあり方を決めつけるのではなく、一人ひとりにできることは何か考えてみましょう。

## 日常的にからかう雰囲気や差別的な言動がある

ふざけて「男らしくない」など差別的な言葉を使う、宴会芸で女装するなど、日常的に性的マイノリティを笑いの対象としてからかう雰囲気はありませんか？ 特定の人を直接からかう行為でなくても、その場の雰囲気を感じ取った当事者が深く傷つくことになります。



## 身近にいるという認識がない

例えば恋愛や結婚、家族の話題など日常会話をする際に、性的マイノリティの人が周りにいないという前提で話をされて困ることがあります。プライベートな話題を避けるためにコミュニケーションを自ら避けてしまう人もいます。



## 学校で

- 小学校の教室内で、ホモやオカマという言葉が日常的に笑いの対象となっており、自分のセクシュアリティがバレたら生きていけないと思った。
- 他の人に身体を見られる心配や、他の人の身体が目に入る罪悪感から、学校の更衣室やトイレが使いつらかった。

## 家庭で

- **カミングアウト**したところ、家族の中で自分の存在を無視されたり、死んだ者として扱われたりした。
- 好きな同性の子がいることが親にバレたため、「学校に行くな」と軟禁された上、勝手に転校を決められた。

当事者の声  
こんな場面で  
困っています

### カミングアウトとは

自らの性のあり方を本人が他の人に打ち明けることをいいます。勇気を出して信頼しているあなたへ打ち明けてくれた場合、肯定的に受け止め、本人の了承なしに他の人に伝えないよう注意しましょう。

## 就労の場で

- 就職活動の際、結婚などの話題から性的指向や性自認をカミングアウトしたところ、面接を打ち切られた。
- 取引先との商談や飲み会の席で、信頼して打ち明けていた上司に「こいつゲイなんですよ」と**アウトティング**された。

### アウトティングは絶対しない

本人の同意なく性的指向や性自認に関する情報を第三者に話すことをいいます。当事者の方がショックを受け精神的に追い込まれるおそれがあります。

※●の事例の出典：性的指向および性自認を理由とするわたしたちが社会で直面する困難のリスト(第3版)LGBT法連合会

**用語説明** ● **セクシュアリティ**：性のあり方のこと。男女だけでなくもつと多様なものとして主に「身体の性」「心の性(性自認)」「好きになる性(性的指向)」「表現する性」の4つの要素がある。 ● **性的指向**：好きになる性。恋愛感情がどの性別に向かかを指す。 ● **性自認**：心の性。自分の性をどう捉えているかを指す。

## 性的マイノリティ専門相談 本人のほか、家族や友人等の相談もお受けします。お気軽にお電話ください。

秘密は  
厳守します

同性が好きかも  
しれない

性別に  
違和感がある

家族からカミングアウト、  
どうしたらいい?

03-5307-0784

毎月第2水曜日 16時～19時(祝日を除く)

## 性的マイノリティ理解促進講座を開催しました

### 講演会「思いやりだけでは解決しない 性的マイノリティの今とこれから」

1月14日に開催した講演では、性的マイノリティの基礎知識をはじめ当事者の困りごとについて講師の経験を踏まえつつ話していただいたほか、令和5年6月に施行された「LGBT理解増進法」についても触れながらこれから理解をどう深めていくか解説していただきました。

参加者からのアンケートでは、「差別はしていないと思込まずにアップデートしていくことが大切」「当事者の皆さんがもっと生きやすい人生を歩んでいくことを願っています」といった感想が寄せられました。



講師：神谷 悠一氏  
(LGBT法連合会事務局長)

## ■避難所の運営体制・運営ルールのポイント

運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 管理責任者には男女両方を配置している(行政職員・施設職員など)</li> <li>□ 自治的な運営組織のリーダー層に女性が3割以上参画している</li> <li>□ 運営組織に、多様な立場の代表が参画している             <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護・介助が必要な人</li> <li>・PTA</li> <li>・障害者</li> <li>・中学生・高校生</li> <li>・乳幼児がいる家庭の人</li> <li>・外国人(居住者が多い場合)</li> </ul> </li> </ul>
運営ルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 避難者による食事作り・片付け、清掃等の負担が、特定の性別や立場の人に偏っていない(男女を問わずできる人で分担)</li> <li>□ 女性用品(生理用品、下着等)は女性担当者が配布を行っている</li> </ul>
ニーズ把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 避難者から要望や困りごとを受けられる仕組み・体制がある(トイレ等への意見箱の設置)</li> <li>□ 女性や子育て・介護中の家庭の要望や困りごとを積極的に聞き取り、運営に反映させている</li> <li>□ 避難者名簿を作成し情報管理が徹底されている(氏名、年齢、性別、健康状態、保育や介護を要する状況、避難場所、在宅・車中泊、外部からの問い合わせに関する情報の開示/非開示の可否)</li> <li>□ 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談が実施されている</li> </ul>

出典：内閣府「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」のチェックリストより抜粋、一部改変

特に避難生活では、プライバシーや衛生の問題、物資、防犯上の不安、心身の健康の問題などから、女性たちがより多くの困難に直面する傾向にあります。改善が進みにくい背景として、防災計画や災害対策本部、避難所運営関係者に女性が少ない・少ないという傾向が挙げられます。(良いことではありませんが)現実として主に家族のケア役割を担っているのは女性が多いだけに、女性の意見を積極的に取り入れなければ、衛生・栄養・育児・介護といった被災者の命と健康に直結するニーズが表に出て来にくくなるため、支援や改善が遅れ、女性だけでなく、高齢者・障害者・病人・子どもたちの状態を悪化させ

てしまうこととなります。左表は、避難所運営体制に関するポイントをとまとめたものです。女性はもちろん、子育て世帯や障害者、中高生、外国人など、多様な立場の視点で助け合っていくことの重要性がお分かりいただけると思います。いまだに、防災は男性向きというイメージが強い傾向にありますが、近年は、行政でも地域でも、防災への女性の参画を増やしていこうという動きが大きくなっています。皆さんの地域ではいかがですか？もし地域でのつながりがなくても、まずは趣味を通してもので構いませんので、関係づくりを意識してみましょう。また、地域の防災訓練にも参加してみましょう。

## ■非常持ち出し品等に関する情報 出典：防災アクションガイド(認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)

# 特に女性に 女性の災害への備え 知っておいてほしいこと ものの備えを確認しよう

いつ災害にあうかわかりません。生理用品など女性が必要なものは、普段からなるべく持ち歩くようにすると安心です。

### 外に出る時に持ち歩くもの

ポーチなどに災害時に必要なものを入れておくことで便利です。ニーズに合わせて検討しましょう。

#### 必要なもの

- スマホ充電器
- 現金
- 大判のハンカチ
- 身分証明書・健康保険証など
- 飲料水(ペットボトル500ml程度)
- 携帯食(ゼリーなどの栄養補助食品)

#### 女性が必要なもの

- 生理用品
  - 中身が見えないポリ袋
  - スキンケア・メイク落としグッズ
  - 防犯ブザーや笛
  - 使いやすい形状の携帯トイレ
  - 小型ライト
- 避難場所でのトイレに行く時など、両手が空くヘッドライトがより便利です。

### 家の非常用持ち出し袋に入れるもの

自分のニーズに合わせてコンパクトに。ベッドの近くなど持ち出しやすい場所に置きましょう。

#### 必要なもの

- 飲料水
- 軍手
- 缶切り
- 乾電池
- ゴミ袋
- 筆記用具
- 耳栓
- タオル
- スリッパ
- 救急用品
- 携帯食(ゼリーなどの栄養補助食品)
- アルミシート・ボンチョなど(防寒や着替え時に役立つもの)
- スマホ充電器
- スマホ用予備バッテリー
- ティッシュペーパー
- 使い捨てカイロ
- ライター類
- 衣類
- ヘルメット
- くすり
- 歯磨きセット

コロナ対策のための必需品 □ マスク □ 体温計 □ アルコール消毒液

#### 女性が必要なもの・あると便利なもの

- 生理用品
- おりものシート
- 携帯用ビデ
- 汗拭きシート
- 肌にあったスキンケア用品
- 小型ライト
- 中身が見えないポリ袋(大・小)
- 使いやすい形状の携帯トイレ
- 下着
- 髪留め
- メイク道具
- メイク落とし



実際に背負ってみて大丈夫な重さに

まず命を守るため、逃げる時にこれだけは持っていたい、という最低限のモノを入れましょう。

### 避難所で過ごす時の服装

避難所では床の上に座る場合もあります。できるだけ過ごしやすく、動きやすい服を用意しましょう。

